

【別紙】

1. 「所沢駅西口開発計画」について

本計画地が近接する所沢駅は、西武新宿線と西武池袋線が交差し、一日あたり約 22 万人(※)が利用する西武鉄道沿線の中心的な拠点です。本計画は、所沢駅西側に広がる西武鉄道所沢車両工場跡地を含む周辺一帯で進められている、本土地区画整理事業地区内の約 34,000 平方メートルの敷地における広域集客型商業施設の開発計画です。店舗面積約 43,000 平方メートルの規模となり、商業フロア 4 層に約 150 店舗の多様なテナントを集積し、お客さまの利便性をより高めるため、約 1,700 台の駐車場を設置いたします。

本土地区画整理事業により、道路の拡幅や歩道空間・公園の整備など、所沢市の玄関口にふさわしい魅力と活力ある街の創出を目指し、まちづくりが進められています。

(※) 2019 年度所沢駅乗降客数 102,368 人（西武鉄道ホームページより）、乗換客数 114,453 人（関東交通広告協議会より）

2. 現在の工事状況



所沢駅西口開発計画（2023 年 11 月 27 日撮影）



航空写真（2023 年 11 月 22 日撮影）

写真提供：株式会社エスエス

3. 計画概要

| | |
|--------|--|
| 事業主 | 株式会社西武リアルティソリューションズ、住友商事株式会社 |
| 運営管理 | 株式会社西武リアルティソリューションズ 住友商事株式会社、住商アーバン開発株式会社 |
| 事業費 | 約 295 億円 |
| 所在地 | 埼玉県所沢市東住吉 10 番（西武所沢車両工場跡地） |
| 敷地面積 | 約 34,000 m ² |
| 延床面積 | 約 129,000 m ² |
| 構造 | RCST 造（柱 RC 造、梁 S 造）、一部 S 造 |
| 階数・高さ | 地上 7 階 最高高さ 37.40m |
| 設計 | 清水建設・西武建設設計共同企業体 （設計者：清水建設株式会社一級建築士事務所） |
| 施工 | 清水建設・西武建設共同企業体 |
| 建物基本設計 | 株式会社日建設計 |
| 店舗面積 | 約 43,000 m ² |
| 店舗数 | 約 150 店舗 |
| 駐車場台数 | 約 1,700 台 |
| 駐輪場台数 | 約 2,000 台 |
| 開業予定 | 2024 年秋 |

※今後の事業進捗に伴い、変更となる可能性があります。



所沢駅西口開発計画 鳥瞰イメージ

4. 所沢駅西口開発計画に関するこれまでの発表資料およびメディア公開

〈発表資料〉

2023年12月14日 2024年秋開業「所沢駅西口開発計画」キーテナント11店舗決定

2022年10月28日 「所沢駅西口開発計画」の事業内容について

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9024/tdnet/2193199/00.pdf>

〈メディア公開〉

2022年10月28日 「所沢駅西口開発計画」新築工事起工式

■各社における事業領域について

・西武グループの不動産事業について

西武グループの「企業価値向上の鍵」と位置付けている不動産事業を担う、西武リアルティソリューションズは、都心や西武鉄道沿線を中心に、商業施設やオフィスビル、住宅などの開発・運営を行っています。商業施設においては、アウトレットの先駆けとなった「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」（1995年開業）、西武鉄道沿線においては、駅直結商業施設「ペペ」や駅ナカ商業施設「Emio」の開発・運営をはじめ、あらゆる場面でお客さまの生活に密着した施設を展開しています。グループ初の複合開発として、グランドプリンスホテル赤坂跡地を再開発した「東京ガーデンテラス紀尾井町」（2016年開業）は、歴史と緑に抱かれた先進の施設群をはじめ、省エネやビオトープ整備による生物多様性の保全と再生の取り組みなど、環境への取り組みが高く評価され、数多くの受賞・認証を受けています。

今後も、西武グループのスローガン「でかける人を、ほほえむ人へ。」のもと、都心エリアや西武鉄道沿線、軽井沢や箱根などのリゾートといった全国にまたがるグループの保有資産について、多様な手法によって価値の極大化を実現してまいります。

・住友商事グループの商業施設事業について

住友商事グループは、1976年より商業施設事業に参画して以来、地域の特徴を活かしたオーダーメイド＝「地域メイド」のスタンスで取り組んでおり、大型商業施設「テラスモール湘南」（2011年開業）、「テラスモール松戸」（2019年開業）、「グランエミオ所沢」（2018年第Ⅰ期開業、2020年第Ⅱ期開業）、「Utsunomiya Terrace」（2022年開業）をはじめ、全国で70施設を所有・運営しています。代表案件であるテラスモール湘南は、2015年4月に、一般社団法人日本ショッピングセンター協会が選出する「第6回日本ショッピングセンター大賞」の最高位である金賞を受賞するなど、その開発・運営実績は高く評価されています。

住友商事グループは、本施設を通じ、お客さまが毎日の暮らしを豊かに、いきいきと楽しめるような地域拠点として、街の魅力をいっそう高め、にぎわいを創出していきます。

■ サステナビリティについて

・西武グループの「サステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。特に、事業を通して創造する社会価値として「4領域と12アジェンダ（重要テーマ）」を設定し、積極的に取り組んでいます。

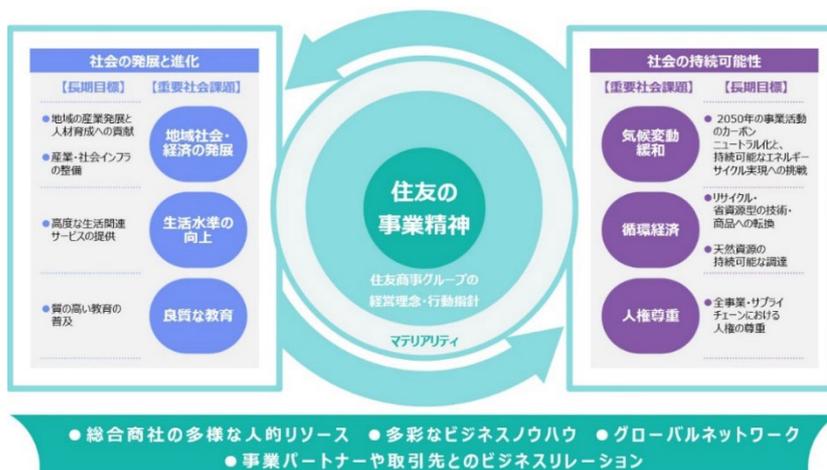
詳細ページ：<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>

| 領域 | アジェンダ | 貢献するSDGs |
|------|-------------------|---|
| 安全 | 安全安心 | 3 持続可能なエネルギーを確保し、気候変動に貢献する 9 産業と地域振興の持続可能な取り組み 11 安全で持続可能な都市づくり 16 平和と公正な社会を築く |
| 環境 | 温室効果ガス削減 | 6 安全な水とトイレを世界中に 7 再生可能エネルギーを拡大し、気候変動に貢献する 12 つくる責任、つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう |
| | 廃棄物削減 | |
| | 水資源の確保 森林や生物保護 | |
| 社会 | 沿線・周辺自治体活性化 | 3 持続可能なエネルギーを確保し、気候変動に貢献する 4 質の高い雇用を拡大し、公平な社会を築く 11 安全で持続可能な都市づくり 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| | ユニバーサルデザイン対応 | |
| | 少子高齢化 | |
| 会社文化 | 働き方改革 | 3 持続可能なエネルギーを確保し、気候変動に貢献する 5 ジェンダー平等を推進しよう 8 豊かさを増やし、持続可能な経済を創出しよう 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正な社会を築く |
| | 多様な人財雇用 | |
| | 従業員教育・管理 | |
| | コンプライアンス | |

・住友商事グループのサステナビリティ経営

住友商事グループは、長期的な社会課題の動向を捉えた戦略的な経営資源の配分を行い、持続可能な社会の実現に向けた事業価値を提供することにより、社会とともに持続的に成長するサステナビリティ経営を推進していきます。

詳細ページ：<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/sustainability/management>



以上